

年末大掃除を迎えて～

セアカゴケグモにご注意

～寒い冬はどうしているの？～



セアカゴケグモのメスは
毒を持っています！

セアカゴケグモのメスは毒を持っており、かまれるとまれに重症化することがあります。

原産地はオーストラリアで、もともと日本にはいませんでした。

国内では、平成7年に大阪府内で初めて確認されて以後、沖縄県から北海道まで41都道府県で確認されています。(平成27年9月10日現在)

平成26年に岐阜市、各務原市、大垣市で相次いで生息が確認され、岐阜市内で定着しているおそれがあります。日本での繁殖期は真夏で、咬傷例は、おもに6月から10月に報告されています。

寒さによりクモの活動は鈍りますが、年末の大掃除など、屋外での作業には注意しましょう。

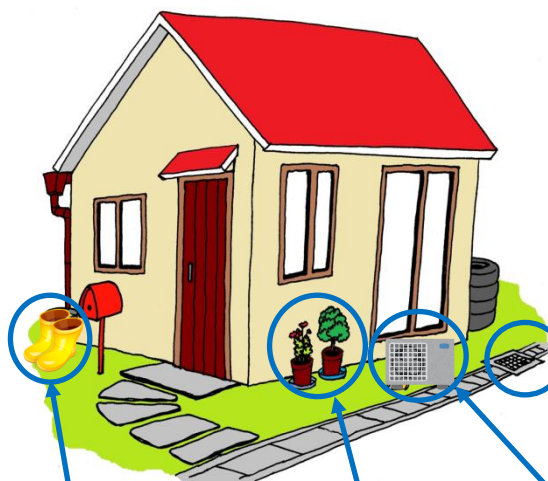
身近な生息場所

きけん!



屋外の物陰になる、すきまを好みます。

◎例えば・・・



遊具の裏

フェンスの基部

ベンチの下

排水口の側面
グレーチングの裏
墓石のすきまなど

外に置いてある靴や
サンダルの中

花壇まわりのブロックの
くぼみ、プランターの
裏側や壁とのすきまなど

エアコン室外機の裏、
人工的な熱源の周囲など

冬はどうしているの？

暖かくなると活動を始めますが、寒い時はじっとしています。

卵のう（卵が入った袋）の状態越冬するものもあります。(卵のうについては右ページ参照)

見つけたときは？

- **さわらない**（素手で直接さわるのはやめましょう）（例）軍手、棒や割りばしの使用。
- **駆除する**（例）卵のうは巣ごとからめ取る。市販の殺虫剤の使用。靴で踏みつぶす。



かまれたときの症状は？

ほとんどが軽傷で済みますが、まれに重症化することもあります！

- 針で刺されたような痛みを感じます。
- かまれた箇所のまわりが腫れて赤くなり、痛みがしだいに全身に広がります。
- 多量の汗をかいたり、はき気を引き起こすことがあります。
- 通常は数時間から数日で症状は軽減します。
- とくに脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります。

もしかまれたら？

- かまれた箇所をすぐに水や温水で洗いましょう。
- できるだけ早く医療機関を受診してください。かまれたクモを殺して持参されますと適切な治療につながります。



予防方法は？

- 生息しそうな場所に注意し、クモが巣を作らないように定期的に掃除しましょう。
- 清掃など屋外での作業のときは軍手などを着用しましょう。

セアカゴケグモってどんなクモ？

- メスだけが毒を持っています。
- 攻撃性はありませんが、さわるとかまれることがあります。

◎メスの特徴（右写真）

- ・ 体長7～10mm（足を除く）。
- ・ 光沢のある黒色で、背中中央に赤色の縦すじ模様があり、腹面には砂時計型の赤い模様が見られます。

◎巣

- ・ 一般的な放射線状ではなく不規則で複雑な網状をしています。
- ・ 地面近くで落ち葉などがからまっている状態がよく見られます。

◎卵のう（卵が入った袋）（右写真）

- ・ 直径10～15mmの乳白色の球形で、中に10～200個の卵があります。

写真提供：堺市生活衛生センター

